

ふじミュ-駐車場横のトンボ用コンテナ池の設置と観察

三宅 隆

旧静岡南高のテニスコート跡地に、長年放置してあったトンボ用のコンテナを、来館者に見てもらえるように、令和6年3月に、駐車場の入り口付近の草地に移動し、トンボの飛来やヤゴの発生の観察を始めました。

設置したコンテナは10個。それに小さなプランター利用のコンテナを5個設置しました。そして、基本的には、可能な限り毎日、朝羽化したヤゴの抜け殻を集めその種類を同定記録し、また飛来したトンボを観察して、ノートに記録しました。

その結果、飛来して、ここで産卵したトンボは、ショウジョウトンボが一番多く、続いてシオカラトンボ、アオモンイトトンボ、オオシオカラトンボの4種類でした。

羽化して抜け殻から確認されたトンボは、4月1日から7月9日までの三ヶ月間で、ショウジョウトンボ、シオカラトンボ、アキアカネ、クロスジギンヤンマ、ギンヤンマ、アオモンイトトンボ、ヒロバネトンボの7種類で、採集したヤゴの数は合計で134頭分でした。この中で、クロスジギンヤンマとギンヤンマはこちらでヤゴを入れたため、その他の5種類がこの池で発生したものと思われます。この中で、ヒロバネトンボの発生は、非常に珍しいものでした。

今年は、昨年産卵したトンボのふ化があるので、今後も、観察を継続し、毎年のトンボの変化を調べたいと思っています。



設置したコンテナ池



コンテナ池 No. 9 で確認できた抜け殻



アオモンイトトンボ羽化



シオカラトンボの羽化